

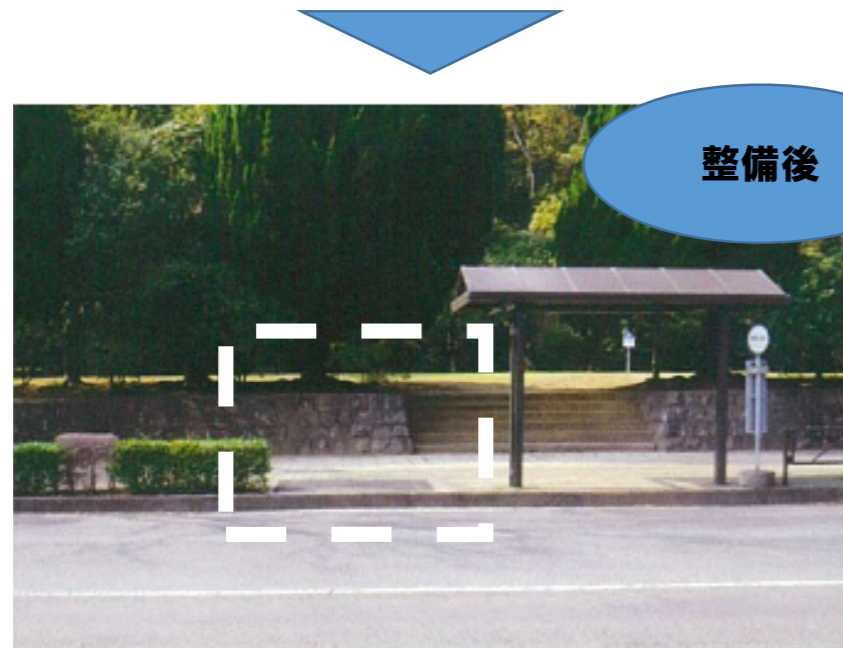
バスに乗り降りしやすい環境の整備

平成28年に道路管理者・公安委員会・バス事業者・市で協議の場を設け、バス事業者から出された改善要望箇所について協議・情報共有を行いました。

バス停付近に設置されている植栽やガードパイプとバスの乗降口の位置が合わない箇所についてバス事業者から道路管理者に改善を依頼しました。

バス停に設置されているガードパイプなどを撤去し、乗降スペースを確保しました。

【交通公園前バス停】



ほか、花園町バス停、花園町入口バス停、松浦町名切グランド前バス停を整備。

新しい体制によるバス運行に対する利用者の声

平成31年3月24日（日）から新たな体制によるバスの運行が始まり4か月が経ち、バス利用者から良くなったところ、不便になったところ等の意見を頂きました。

利用者からのご意見、また今後の課題や問題意識をバス事業者と市で共有し、お客様目線で行政も交えた改善ができるよう進めていきたいと思っております。

良くなったところ

- ・共通定期券の導入により、西肥バスと旧市営バスの両方に乗れるようになったことで利用の幅が広がり利便性が向上した。
- ・市営バス時代の「おでかけ定期」が西肥バスの「リフレッシュパス65」に統合されたことで、利用できるエリアが広がり便利になった。
- ・共通の発券所となったことにより、どこの窓口でも定期券、各種サービスチケットが購入できるようになり便利になった。

不便になったところ

- ・一体化によるダイヤ改正で、これまで利用していた時間の便がなくなった。
- ・途中で乗換が必要になった。
- ・夜間の便が少なくなった。
- ・乗車人数が多く座れない。
- ・利用者が多くなったことにより遅れることがある。